

---

# いつもどおり？

蟻

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

いつもどおり？

### 【Nコード】

N2160C

### 【作者名】

蟻

### 【あらすじ】

毎日が同じことの繰り返しで退屈だった少女が、ある日突然起きた事件によって唯一の友達、サキを失ってしまう。警察には犯人と勘違いされ、学校の人達にも犯人だと思われいじめに遭う。そんな中、一人の少女が立ち上がる。

## 一話

いつもと同じように、今日も私は7時ぴったりに起きる。

いつもと同じように歯を磨き、顔を洗い、制服に着替える。

今日もどうせいつもどおり、ただ何度も体験したことを繰り返すだけ。

そう思ってた。

自転車で学校にむかう。途中で友達のサキに会った。

「おっはよーっ!」

サキが元気に挨拶してきたので、私も元気よく返事をする。

サキを自転車の後ろに乗せて学校にむかう。

コンビニの近くを通ると、サキが

「ちょっと飲み物買ってかない?」

と言った。私も喉が渴いていたので、コンビニによった。

ついでにトイレも済ませようと思って、

「ちょっとトイレ行ってくるね。」

と言い、トイレに入る。

ジャーっとトイレの水を流して、手を洗う。

トイレからもどってサキを捜す。

あれ、いない。

サキはこんな小さなコンビニで迷子になったのか？

それとも私が迷子なのか？

まあそんなことはどうでも良い。今はサキを捜さなくちゃ。

先に学校に行っちゃおうかな？ と思っただけで、サキに嫌われたくないのでやめた。

私は去年まで友達がひとりも居なくて、不登校ぎみだったけど、幼馴染のサキが家に遊びに来てくれて、学校へ行くようになったのだ。

今はサキしか友達居ないけれど、毎日楽しい。

サキという友達を失ったら、また私は不登校になる。 と、思う。

外に居るのかもしれない。と思い、外に出ようとしたとき

携帯電話がなった。メールのようだ。

「たすけて」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2160c/>

---

いつもどおり？

2011年1月16日02時08分発行